

一般社団法人 協力隊を育てる会

第 45 回通常総会

【報告書】

2019 年度事業報告	・ ・ ・ ・ ・	P. 2
2020 年度事業計画	・ ・ ・ ・ ・	P.21
2020 年度収支予算	・ ・ ・ ・ ・	P.31

【議案書】

第 1 号議案：2019 年度決算承認の件	・ ・ ・ ・ ・	P.32
公益目的支出計画実施報告書	・ ・ ・ ・	P.38
監事監査報告書	・ ・ ・ ・ ・	P.39

第 2 号議案：2020-2021 年度役員承認の件	・ ・ ・	P.40
----------------------------	-------	------

2020 年 6 月 30 日（火） 於 連合会館



2019 年度事業報告書

1. 2019 年度事業方針
2. 2019 年度事業報告

2019 年度事業方針

(2019 年 4 月 1 日から 2020 年 3 月 31 日まで)

連帯を求める世界の中にあつて、日本の明日を支える時代精神は、どういう気風のものたるべきであろうか。多くの日本人の視野外に在って、それ自体はケシ粒のように小さい存在であり、それぞれがまだこれから成長して行かなくてはならない現状ではあるが、海外ボランティア活動として展開されている青年海外協力隊員の活動は冒頭の根源的な問いに一つの無言の答えを示している。

(抜粋)

43 年前の昭和 51 年（1976 年）、当会の設立発起人であり初代会長を務めた茅誠司は、このように設立趣意書をしたためました。

昭和から平成の時代となり、この 30 年の間で青年海外協力隊をはじめとする JICA 海外協力隊事業（以下、協力隊事業）は大きな飛躍を遂げ、当会も「育てる会活動」を国民運動として展開すべく、全国的な基盤を構築するに至りました。

平成の時代精神は、従来の価値観や常識にとらわれず多様性を認める社会となる一方で、社会だけでなく人間関係においてもフラットネス、ボーダーレスな方向へと進み、正解のない、様々な常識が混在するに至りました。新しい令和の時代においては、社会全体がシームレスなものになり、社会全体の考えや動きも更に変化していくことでしょう。そして、こうした時代の変わり目にあつて、我々「協力隊の応援団」も機能や役割の変容を遂げていかななくてはなりません。

令和における「協力隊の応援団」の時代精神とは、冒頭に掲げた世界や日本の課題に自ら進んで取り組む若者を応援する活動は普遍的なものであり、協力隊事業が次世代を担う若者にとって「人生の価値を高める活動」であると考え、全国の仲間と手を携えながら JICA 青年海外協力隊事務局とパートナーシップを組み、国民的基盤のうえで活動を展開して参ります。

【スローガン】

「協力隊は日本の宝、育てて活かす平和の種まき」

【基本方針】

1. 協力隊事業への支援を通じて、世界から信頼される日本と平和で豊かな社会を実現する人材を育成する。
2. 協力隊に参加しやすい社会環境を目指して、全国の育てる会組織の皆様と共に活動する。
3. 協力隊の活動を通じて得た隊員たちの経験が日本の地域社会の活性化に生かされるよう、帰国隊員と自治体、経済団体、市民団体等との橋渡しとなる役割を果たす。

【重点活動】

1. 2020 年度の事業契約に向けた実施体制の確立
2. 協力隊の関連業務やグッズ販売等による財政基盤の安定化
3. 応募勧奨活動等による全国育てる会と JICA 青年海外協力隊事務局とのパートナーシップ強化
4. 協力隊事業の理解促進等による「持続可能な開発目標」（Sustainable Development Goals）への貢献

協力隊を育てる会の使命

青年海外協力隊をはじめとする国際ボランティア（以下「協力隊等」という。）事業に市民の立場から参加しやすい社会環境を創り、次世代を担う人材の創出及び育成を図るとともに、協力隊等が得た経験を共有することで多様な価値観を尊重する平和で豊かな社会を築き、国際社会と地域社会の発展に寄与する。

重点活動

協力隊支援業務の
実施体制確立

財政基盤の安定化

協力隊支援活動を通じた連携強化

協力隊事業を通じた
SDGsへの貢献

理解促進事業

各種イベント開催

「視察の旅」等の
企画

カレンダーの
販売

カタログギフトの
販売

協力隊グッズの
販売

他団体との連携

帰国隊員の
進路支援

助成事業

小さなハートプロ
ジェクト

帰国隊員/青年支援
プロジェクト

馬場医療・福祉
奨学金

地域の育てる会
活動助成

広報事業

育てる会ニュース
の編集発行

web・SNSによる
情報発信

受託事業

クロスロード
編集・発行業務

帰国後事務手続き
現職参加促進業務

協力隊支援
関連業務

総務活動

各種会議等の
開催

業務実施体制の
強化

隊員向け
ガイダンス等

2019 年度事業報告

(2019 年 4 月 1 日から 2020 年 3 月 31 日まで)

【重点事業】

1. 2020 年度の事業契約に向けた実施体制の確立

1) 帰国隊員支援に関するセミナーの企画・開催

(1) 進路セミナー「教員」編

実施：JICA 市ヶ谷にて計 8 回

参加：68 名

(2) 進路セミナー「自治体職員」編

実施：JICA 横浜にて計 1 回

参加：2 名

2) 帰国隊員支援に関する調査・情報収集

(1) 育てる会ニュースでの紹介

・日本も元気にする青年海外協力隊 OB 会（連載 16 回）

・オリパラを支える OBOG（連載 4 回）

(2) イベント等での活動支援

・起業目指す OBOG の商品販売機会の創出（都内各地でのイベント参加等 6 回）

2. JICA 海外協力隊の関連業務やグッズ販売等による財政基盤の安定化

1) 関連業務への参画

(1) 公示案件への入札

今年度は当会のノウハウ等に見合った公示案件がなく、新規入札は行わなかった。

2) グッズ販売

(1) JICA 海外協力隊 T シャツの制作・販売

価 格：2,200 円（税込み）

販売数：166 枚

売 上：365,350 円

(2) JICA 海外協力隊ピンバッジの制作・販売

価 格：880 円（税込み）

販売数：53 個

売 上：39,740 円 ※一部割引、税率 8% = 864 円販売を含む

(3) 「世界を変える力になる」コーヒー（ミカフェートとのコラボレーション）の販売

価 格：1,000 円（税込み）

販売数 : 965 セット
売 上 : 965,000 円

3. 全国育てる会と JICA 青年海外協力隊事務局とのパートナーシップ強化

1) JICA 海外協力隊の応募勧奨活動

- (1) 春及び秋募集に係るポスター貼付及び募集要項等の配布
 - ① 広報素材の事前申し込みの告知（開催 2 ヶ月前より実施）
 - ② 広報素材の送付手配及び調整
- (2) 募集説明会開催の呼びかけ
 - ① 開催諸経費支援制度の紹介及び説明

2) JICA 海外協力隊の理解促進活動

※「4.JICA 海外協力隊事業を通じた SDGs への貢献」に記載

3) 全国育てる会との連携

(1) 会合への参加

①北陸ブロック JICA 支援する会連絡会議

主 催 : 福井県青年海外協力隊等を支援する会

日 時 : 8 月 27 日 (火) 13 : 30~16 : 30

場 所 : 福井県国際交流会館第 3 会議室

参 加 : 北陸 3 県育てる会 (石川、富山、福井)、県 OB 会、JICA 青年海外協力隊事務局、JICA 北陸、福井県支援する会会員、伊藤次長 計 21 名

議 題 : 名称変更について、JICA とのパートナーシップの在り方について 等

(2) セミナーの共催

①JICA 中小企業向け海外展開支援事業に関する説明会

主 催 : 協力隊を支援するやまがた地球家族の会、一般社団法人協力隊を育てる会、JICA 東北

日 時 : 11 月 15 日 (金) 14 : 00~16 : 00

場 所 : 公益財団法人庄内地域産業振興センター

参 加 : 県内企業団体 6 法人、JETRO 山形、JICA 青年海外協力隊事務局、JICA 東北、伊藤次長 計 22 名

議 題 : JICA 中小企業・SDGs 支援事業、民間連携事業の活動について 等

(3) 全国育てる会及び関係団体の総会等への出席

	組織名	開催内容	開催日	出席者
1	奈良 JICA ボランティア応援団	総会・帰国報告会	5 月 13 日 (月)	足立顧問
2	日本も元気にする 青年海外協力隊 OB 会	総会・活動報告会	5 月 19 日 (日)	大石事務局長

	組織名	開催内容	開催日	出席者
3	三重県 協力隊を育てる会	総会	5月24日 (金)	大石事務局長
4	埼玉 国際青年を育てる会	総会・帰国報告会	5月25日 (土)	奥永常任理事
5	京都府 JICA ボランティア応援団	総会	6月5日 (水)	足立顧問
6	福島県 青年海外協力隊を支援する会	総会・帰国報告会	6月13日 (木)	大石事務局長
7	一般社団法人 青年海外協力隊プラザ・大阪	総会・帰国報告会	6月14日 (金)	足立顧問
8	広島県 青年海外協力隊を育てる会	総会・帰国報告会	6月15日 (土)	足立顧問
9	青年海外協力隊 神奈川県 OB 会	総会・講演会	6月15日 (土)	奥永常任理事
10	千葉県 海外協力隊を育てる会	総会・帰国報告会	6月16日 (日)	大石事務局長
11	公益社団法人 青年海外協力協会	総会	6月22日 (土)	奥永常任理事
12	愛知県 青年海外協力隊を支援する会	総会・帰国報告会	7月6日 (土)	足立顧問
13	埼玉 国際青年を育てる会	壮行会	11月22日 (金)	大石事務局長

(4) 2019年度全国育てる会代表者会議

主催：一般社団法人協力隊を育てる会、JOCV 事務局

日時：3月3日(火) 14:00~17:45

場所：JICA 竹橋合同ビル

議題：新たな JICA 海外協力隊事業の方針、全国育てる会の在り方に関する方針確認 等

実施：コロナ禍の影響により開催延期

4. JICA 海外協力隊事業を通じた SDGs への貢献

1) 関連商品の販売

(1) 育てる会カレンダーの制作・販売

概要：派遣中隊員及び帰国隊員から提供される写真を使用したオリジナルカレンダー

テーマ：チャ！チャ！チャ！—JICA 海外協力隊と SDGs—

仕様：A4 横／フルカラー／14 枚綴り (28P) /オリジナル名入れ・メッセージ印字

価格：価格：1部 1,100 円 (税込/会員 800 円/3 部以上購入の場合 1 部 600 円)

制作：12,500 部 (昨年 13,000 部)

売上：9,931 部/4,967,396 円 (前年度 11,972 部/5,045,200 円)

(2) 関連書籍の販売

①青年海外協力隊 50 周年記念誌「持続する情熱」(ダイジェスト版)

配布数 : 32 冊

残 数 : 174 冊

②青年海外協力隊 50 周年記念誌「持続する情熱」(完全保存版)

体 裁 : A4 判/416 ページ/フルカラー

販売数 : 10 冊

残 数 : 263 冊

③青年海外協力隊 50 周年記念誌「持続する情熱」(英語版)

体 裁 : A4 判/128 ページ/フルカラー

配布数 : 0 冊

残 数 : 4 冊

④「青年海外協力隊の軌跡と展望～世界を翔ける日本青年の素顔～」

体 裁 : 新書判/232 ページ/モノクロ

配布数 : 35 冊

残 数 : 64 冊

(3) カタログギフトの販売

ブランド:「GLOBAL SPROUT」(グローバルスプラウト)

概 要 : 帰国隊員が生産する食品・雑貨・化粧品等のカタログギフト販売

売 上 : 572,260 円

備 考 : 宅配便の料金変更及び消費税増税に伴い、10月1日購入分から価格を変更

スプラウト・コース:新価格 4,280 円(税込み) /旧価格 3,780 円(税込み)

リーフ・コース :新価格 6,480 円(税込み) /旧価格 5,940 円(税込み)

2) 各種イベントへの参加

(1) 協力隊まつり 2019

主 催 : 協力隊まつり実行員会

日 時 : 4月21日(日) 10:00~17:00

場 所 : JICA 地球ひろば(市ヶ谷)

概 要 : 協力隊 T シャツ、帰国隊員が生産する雑貨、「持続する情熱」等書籍の販売

備 考 : 当会参加は1日のみ

参 加 : 内島職員、熊野職員

(2) 第 90 回メーデー中央大会

主 催 : 第 90 回メーデー中央実行委員会

日 時 : 4月27日(土) 09:30~14:30

場 所 : 代々木公園

概 要 : 協力隊 T シャツ、グアテマラ帰国隊員おすすめの雑貨等販売

参 加 : 大石事務局長、藤澤職員ほか

(3) キッズフェスタ in 大井競馬場

主 催 : 東京 2020 ライオンズクラブ
日 時 : 9 月 14 日 (土) 10 : 00 ~ 14 : 30
場 所 : 大井競馬場第一駐車場
概 要 : 協力隊 T シャツ、アフリカ帰国隊員おすすめの雑貨等販売、秋募集の広報
参 加 : 伊藤次長

(4) グローバルフェスタ 2019

主 催 : グローバルフェスタ実行委員会
日 時 : 9 月 28 日 (土) ~ 29 日 (日) 10 : 00 ~ 17 : 00
場 所 : お台場センタープロムナード
概 要 : カレンダー、コーヒー、協力隊 T シャツ、帰国隊員が生産する雑貨等の販売
参 加 : 大石局長、藤澤職員、熊野職員ほか

(5) 第 17 回日比谷公園ガーデニングショー

主 催 : 公益財団法人東京都公園協会、日比谷公園ガーデニングショー実行委員会
日 時 : 10 月 23 日 (水) 10 : 00 ~ 16 : 30
場 所 : 日比谷公園
概 要 : カレンダー、コーヒー、協力隊 T シャツ、帰国隊員が関わるタイ雑貨等の販売
参 加 : 伊藤次長、藤澤職員

(6) SEISA Asia Africa Bridge 2019

主 催 : 公益財団法人世界こども財団、学校法人国際学園
実 施 : 11 月 9 日 (土) ~ 10 日 (日) 10 : 00 ~ 16 : 00
概 要 : カレンダー、コーヒー、帰国隊員が関わるタイ雑貨等の販売
場 所 : 星槎中学高等学校
参 加 : 奥永常任理事ほか

3) 企業団体向けのセミナー

(1) サマーコンファレンス 2019

主 催 : 公益社団法人日本青年会議所
日 時 : 7 月 20 日 (土) ~ 21 日 (日) 10 : 00 ~ 17 : 00
場 所 : パシフィコ横浜
概 要 : 民間連携ボランティア等の制度説明及び協力隊事業広報のブース出展
参 加 : 伊藤次長、藤澤職員

(2) 東京町田クレインライオンズクラブ第 581 回 7 月第二例会

主 催 : 東京町田クレインライオンズクラブ
日 時 : 7 月 22 日 (月) 18 : 00 ~ 19 : 00
場 所 : 主婦会館プラザエフ
概 要 : JICA 海外協力隊事業及び民間連携事業の概要説明
参 加 : 伊藤次長

(3) 東海ブロックグループ勉強会 in 浜松

主 催 : 東海ブロックグループ勉強会
日 時 : 9月23日(月祝) 13:00~14:00
場 所 : サーラシティ浜松
概 要 : JICA 海外協力隊事業及び民間連携事業の概要説明
参 加 : 伊藤次長

(4) 公益社団法人日本青年会議所 2020 年度京都会議

主 催 : 公益社団法人日本青年会議所
日 時 : 2020年1月17日(金) ~19日(日) 9:00~17:00
場 所 : 国立京都国際会館
概 要 : 民間連携ボランティア等の制度説明及び協力隊事業広報のブース出展
参 加 : 伊藤次長、藤澤職員

(5) JCI 金沢会議 2020

主 催 : 公益社団法人日本青年会議所
日 時 : 2020年2月21日(金) 14:00~23:00
 22日(土) 9:00~24:00
 23日(日) 9:00~12:00
場 所 : 北國新聞赤羽ホール
概 要 : 民間連携ボランティア等の制度説明及び協力隊事業広報のブース出展
参 加 : 伊藤次長、藤澤職員

4) 帰国報告会等

(1) 会員・家族交流会「JICA 海外協力隊 FUN FAN 交流会」

①日 時 : 7月20日(土) 10:00~13:00
場 所 : JICA 地球ひろば
講 師 : 吉田職員(スーダン/環境教育/2016-4)
 寺田弘美氏(モザンビーク視察の旅参加者)
 宮原洋一氏、文子氏(パラグアイ視察の旅参加者)

(2) 大学での講義

①日 時 : 5月21日(火) 14:45~16:15、16:30~18:00
対 象 : 早稲田大学教育学部 255名
概 要 : 「特別活動論」ボランティア活動の実践と意義について
講 師 : 金山光一氏(進路相談カウンセラー/教育分野担当)
 山本美香氏(前 JICA 青年海外協力隊事務局長)
 奥永常任理事
②日 時 : 10月31日(木) 14:45~16:15、16:30~18:00
対 象 : 早稲田大学教育学部 140名

概要：「生涯学習概論」「特別活動論」多文化教育とボランティアについて
講師：金山光一氏（進路相談カウンセラー／教育分野担当）
伊藤次長、藤澤職員（モロッコ／青少年活動／2010-3）

5) 他団体との連携

(1) 大学

- ①日時：10月15日（火）11：00～13：00、28日（月）11：30～13：30
対象：東京医科歯科大学
概要：留学生受け入れ等、JICAと大学との連携について
参加：奥永常任理事、大石事務局長
- ②日時：10月18日（金）16：30～17：30、2月26日（水）15：00～16：00
対象：千葉大学
概要：学生のグローバル教育を目的とした、インターン等の海外研修について
参加：松岡常任理事、奥永常任理事、大石事務局長
- ③日時：12月4日（水）11：00～12：00
対象：星槎大学大学院
概要：帰国隊員をターゲットにした国際協力・共生研究コース開講の広報協力について
参加：大石事務局長

(2) 各種団体

- ①日時：5月24日（金）、10月15日（火）
対象：ライオンズクラブ国際協会 330-A地区
概要：子ども食堂向けの食材提供
- ②日時：7月1日（月）10：00～12：00
対象：一般社団法人インドネシア教育振興会、Yayasan Semarak Pendidikan RI
概要：鉛筆等の文具提供

【理解促進事業】

1) 「視察の旅」の企画・実施

隊員家族や関係者等を中心に、現地の活動視察を通じて協力隊事業の理解者を増やすとともに、支援の輪を広げる機会として企画・実施した。

実施期間：5月～2020年2月

企画概要：アフリカ・中南米等、実施可能な隊員派遣国（32ヶ国）

対象：隊員家族等

実施国数：7ヶ国

参加人数：34名

	地域	国	期間	参加者数
1	アフリカ	ルワンダ	9月23日(月)～10月2日(水)	6名
2		ザンビア	12月4日(水)～12月13日(金)	6名
3		ガーナ	12月4日(水)～12月13日(金)	3名
4		モザンビーク	2月19日(水)～2月28日(金)	7名
5	中南米	ペルー	9月2日(月)～9月11日(水)	7名
6		コスタリカ	9月2日(月)～9月11日(水)	1名
7		パラグアイ	11月19日(火)～11月28日(木)	4名

【助成事業】

1) 小さなハートプロジェクト

協力隊員が本来の業務以外に企画するプロジェクトに対して支援金を募り、活動を支援した。プロジェクト支援によって、途上国の人々の生活向上に寄与するだけでなく、協力隊を通して支援者と途上国の人々との繋がりを強め、国際協力に対する気運を高めた。

支援金額：1件につき上限 300,000 円

支援件数：4 件

支援総額：878,959 円

募集期間：通年

審査：審査員により随時実施

	受給者名 (出身県)	派遣国/職種/隊次	プロジェクト名	支援額 (円)	支援者
1	丹澤一葉 (山梨県)	モザンビーク コミュニティ開発 2017-3	郡立ジャンガモ中等教育学校の図書館支援～教育は世界を変える！	269,100	山梨県育てる会 金沢二水高校 電力総連
2	猪狩尚史 (福島県)	マラウイ 公衆衛生 2017-2	マラウイの田舎の乳幼児健診会場に屋根を作ろうプロジェクト	145,710	福島県支援する会 電力総連 川口光子氏他6名
3	浅井梢 (岐阜県)	ドミニカ共和国 環境教育 2017-3	地域住民と子どもたちが集うコミュニティセンターの改修プロジェクト	270,000	岐阜県支援する会 駒ヶ根育てる会
4	清水啓 (埼玉県)	ミャンマー 青少年活動 2017-4	少年訓練学校の子どもたちに安全な水を！	194,149	埼玉育てる会 電力総連
合 計				878,959 円	

2) 帰国隊員／青年支援プロジェクト

公益財団法人三菱 UFJ 国際財団の助成を受け、帰国隊員の国際協力活動及び調査研究活動を支援した。

支援金額：1 件につき上限 500,000 円

支援総額：3,200,000 円

募集期間：7 月 1 日（月）～8 月 31 日（土）

審査選考：選考委員会にて 10 月 8 日（火）実施

応募：24 名（協力活動 11 名・調査研究 13 名）

結果：8 名（協力活動 2 名・調査研究 6 名）への支援決定

<協力活動>

	受給者名	派遣国／職種／隊次	プロジェクト名称	活動地域
1	甘利琢磨	ヨルダン 作業療法士 2014-3	ヨルダンにおける都市型シリア難民障害者のセルフケア教育	ヨルダン
2	山崎智恵	シリア・モロッコ 保健師 2009-1	中東の授乳服を伝統衣装で作成し母乳育児率推進を図る	富山県

<調査研究活動>

	受給者名	派遣国／職種／隊次	プロジェクト名称	活動地域
1	大谷可菜子	ガーナ 感染症・エイズ対策 2014-1	ガーナにおける伝統医療の位置付けと受診行動に関する質的調査	ガーナ
2	島崎琴子	ニカラグア コミュニティ開発 2015-2	ニカラグア農村地域において住民の健康増進への価値観・行動に影響を与える要因調査	ニカラグア
3	手島祐子	インドネシア 栄養士 2015-1	インドネシア・バンドン市における、個人レベルの栄養不良の二重負荷が起こる要因	インドネシア
4	西垣友恵	ガボン 幼児教育 2009-1	ガボン共和国の子どもを取り巻くアート活動、芸術教育についての一考察	ガボン
5	原健太	サモア 野菜栽培 2013-3	ケニアの農村地域の生活習慣病予防に向けた肥満度に対する栄養、農業、活動量の関係性について	ケニア
6	山崎順子	マラウイ 看護師 2015-1	フィリピンセブ島における、Zumba エクササイズ継続に影響を与える要因の検討－生活習慣病対策におけるポピュレーションアプローチの効果に関する研究－	フィリピン

3) 馬場医療・福祉奨学金

医療・福祉分野への就学・就職を希望する帰国隊員を対象に、返済義務を付した奨学金を給付し支援した。

支援金額：1 件につき上限 500,000 円

支援総額：800,000 円

募集期間：7月1日（月）～8月31日（土）

審査選考：帰国隊員／青年支援プロジェクトの審査選考と併せて実施

応募：2名

結果：2名への支援決定

	受給者名	派遣国／職種／隊次	就学先	修了予定
1	中東愛	スーダン 障害児・者支援 2016-3	ArtEZ University of the Arts Master of Music Therapy	2020年 8月
2	牧野夏実	ブラジル 栄養士 2016-1	西武学園医学技術専門学校 言語聴覚科	2022年 3月

4) 全国育てる会活動助成

全国育てる会が実施する協力隊事業の理解促進等の諸活動に対し、助成金を給付した。

給付金額：1組織上限 80,000 円

支援総額：42組織 3,354,250 円

給付時期：2020年4月13日（月）

対象事業：以下の4事業

①会員拡大

（育てる会・支援する会・応援団の仲間を増やす活動）

②協力隊に参加し易く、その経験を地域に活かす社会環境の整備

（現職参加、帰国隊員の進路支援、帰国後の社会還元等の促進活動）

③広報・理解促進

（協力隊事業の理解を広める活動）

④全国組織連携

（近隣・ブロック・全国レベルの組織間交流活動）

【広報事業】

1) 「協力隊を育てる会ニュース」の発行

全国育てる会と会員、派遣中の協力隊員、帰国隊員、法人団体等の支援者とを結ぶ“育てる会活動の情報ツール”として、育てる会活動や帰国隊員の取り組み、協力隊事業の動向等を紹介した。

発行数：約 7,000 部／毎月

仕様：モノクロ／タブロイド版／4 ページ

構成：1面～最新トピックス

2面～全国育てる会や地域の支援者の活動紹介

3面～派遣中隊員、帰国隊員向けの支援情報

4面～各種インフォメーション

2) Web や SNS による情報提供

一般から隊員家族、派遣中隊員、帰国隊員まで、協力隊事業ならびに育てる会活動を広く周知するため、Web や SNS を活用した広報を更に充実させるとともに以下の情報等を発信した。

- (1) 全国育てる会活動の最新トピックスや各種イベント情報（告知および報告等）の提供
- (2) 帰国隊員が関わる事業や商品情報の提供
- (3) 各種支援情報の提供

3) メールリストによる情報提供

派遣中隊員や帰国隊員に向け、育てる会活動を広く周知しネットワークを構築するため、以下の情報等を発信した。

- (1) カレンダー写真の募集
- (2) 会員団体からの情報提供
- (3) イベント参加・出展者募集

4) 隊員活動の広報支援

関係団体等の広報媒体と帰国隊員を繋ぎ、協力隊事業の理解促進を目的としたレポート等を発信した。

(1) FEC NEWS

発行元 : 民間外交推進協会

発行 : 月1回

内容 : 帰国隊員による現地の活動や生活、参加を通じて得られたこと等についての寄稿

【受託事業】

1) JICA 受託事業

当会の独自性と長年培ってきたノウハウを活かし、効率的かつ効果的に業務遂行するとともに、契約再受託に向けた諸準備を進めた。

(1) 『クロスロード』誌編集・発行業務

委託元 : 独立行政法人国際協力機構

業務 : ボランティア向け実践ガイドの編集発行

備考 : 2019年12月号(OBOG号)が編集都合により発行遅延→会員に通知済

(2) 「JICA ボランティア帰国情報/事務管理・現職参加促進支援」業務

委託元 : 独立行政法人国際協力機構

業務 : 各種証明書発行やデータ整備等の事務手続き、現職参加の促進・調査・相談等

備考 : 好事例集の制作業務増

・「日本も元気にする青年海外協力隊」パンフレット(計27件)

・全国町村会広報誌「町村週報」における帰国隊員記事連載(4件)

【総務活動】

1) 各種会議の運営

一般社団法人としての確かな組織運営ならびに事業活動の推進を目的として、役員会等の各種会議を開催した。

(1) 第44回通常総会

開催日 : 5月30日(木) 14:00~19:30

場 所 : 日本青年館

概 要 : 通常総会・講演会・懇親会の3部形式

第1部 通常総会 14:00~15:30

第2部 講演会 16:00~17:30

「上皇、上皇后陛下の青年海外協力隊への思い」

講師 渡辺允氏(元 JICA 理事、元侍従長)

第3部 交流会 18:00~19:30

参 加 : 100名

(2) 理事会

年3回の開催

第1回	第2回	第3回
5月10日(金) 17:00~19:00 於 日本青年館	12月6日(金) 17:00~19:00 於 日本青年館	2020年3月10日(火) 17:00~19:00 於 日本青年館

(3) 常任理事会

原則として四半期に1回

4月期	7月期	9月期	12月期
4月17日(水) 14:00~16:00 於 日本青年館	7月18日(木) 17:00~19:00 於 日本青年館	9月27日(金) 15:00~17:00 於 日本青年館	12月6日(金) 15:00~17:00 於 日本青年館

(4) 顧問・参与会議

今年度は役員含めた全体会議として開催

第1回
9月27日(金) 18:00~19:30 於 連合会館 205 会議室

2) 各種交流会等の開催及び参加

組織活動の一環として交流会や祝賀会を主催したほか、関係団体等の催事等へ参加した。

(1) 「協力隊の日を祝う会」

主 催 : 公益社団法人青年海外協力協会

日 時 : 4月20日(土) 14:00~

場 所 : 旧 JICA 広尾センター「友よやすらかに」慰霊碑前

参加：足立顧問、黒河内顧問、奥永常任理事、谷川参与、横尾参与、岡部カウンセラー、大石事務局長ほか（総勢約 60 名）

(2) 第 15 回 JICA 理事長表彰受賞を祝う会

主催：一般社団法人協力隊を育てる会

日時：10月8日（火）18：30～20：00

場所：JICA 市ヶ谷

参加：受賞者はじめ当会役員、青年海外協力隊事務局ほか（総勢約 50 名）

(3) 連合 30 周年躍進レセプション

主催：日本労働組合総連合会

日時：10月11日（金）13：00～15：30

場所：帝国ホテル

参加：足立顧問、大石事務局長

(4) 駒ヶ根青年海外協力隊訓練所開設 40 周年記念式典

主催：独立行政法人国際協力機構駒ヶ根青年海外協力隊訓練所

日時：10月26日（土）13：30～15：30

参加：山本副会長

備考：訓練所第 3 代目所長として高橋参与も来賓出席

3) 会員現況

育てる会活動に対する支援を広げるため、会員の拡充に努めた。

(1) 新規入会

名称：スウィフト・エックスアイ株式会社

入会：10月8日（火）

口数：法人会員 1 口

関係：シー・ディー・シー・インターナショナル株式会社のご紹介

業種：航空宇宙工学（ドローンを活用したデータ提供サービス等）

(2) 社団会員数

法人：25（前年度 29）→入会数 1（前年度 3）

団体：96（前年度 99）→入会数 0（前年度 0）

個人：365（前年度 397 名）→入会数 28（前年度 37）

(3) 全国育てる会会員数

2,991 会員（前年度 3,143 会員）

4) 慶弔

(1) 令和元年春の褒章・叙勲

①瑞宝双光章

・渡邊敏彦氏

(にいがた青年海外協力隊を育てる会副会長／新潟ビジネス専門学校長)

②瑞宝小綬章

・山下俊一氏

(鳥取県協力隊を育てる会監事／元公益財団法人鳥取県国際交流協会常務理事)

(2) 令和元年秋の褒章・叙勲

①旭日中綬章

・山浦愛幸氏

(長野県青年海外協力隊を育てる会会長／一般社団法人長野県経営者協会会長)

②旭日小綬章

・有澤寛氏

(島根県青年海外協力隊を育てる会副会長／山陰中央 TV 放送株式会社代表取締役会長)

・小野利廣氏

(福島県青年海外協力隊を支援する会監事／福島県南土建工業株式会社代表取締役)

(3) 第 15 回 JICA 理事長表彰

①団体表彰

・秋田県青年海外協力隊を支援する会

・公益財団法人日本ユースリーダー協会 (当会団体会員)

(4) 自治体表彰

①奈良市表彰

乾昌弘氏

(奈良 JICA ボランティア応援団会長／株式会社明新社代表取締役社長)

(5) 訃報

①大槻隆一氏 2019 年 7 月 8 日 (月)

(一般社団法人青年海外協力隊プラザ・大阪名誉会長／元 JICA 進路相談カウンセラー)

②羽吹 登氏 2019 年 9 月 22 日 (日)

(にいがた青年海外協力隊を育てる会設立発起人／モロッコ／土木測量／1971-1)

③寺坂智昭氏 2020 年 2 月 29 日 (土)

(福井県青年海外協力隊等を支援する会副会長／天龍山等覚寺第 34 世住職)

5) 派遣隊員へのガイダンス

訓練中の協力隊員をはじめとする JICA 海外協力隊に対し、派遣中を主とした育てる会活動のガイダンスを行うとともに個人情報の提供を依頼した。

場 所 : 駒ヶ根、二本松の両訓練所、JICA 麴町本部 (TV 会議)

概 要 : 育てる会活動の説明及び個人情報の収集

隊次	訓練所	実施日	担当者	実施
2019年度1次隊	駒ヶ根	5月17日(金)	熊野職員	訓練所訪問
	二本松	5月13日(月)	藤澤職員	訓練所訪問
2019年度2次隊	駒ヶ根	9月30日(月)	藤澤職員	TV会議
	二本松	10月1日(火)	大石事務局長	訓練所訪問
2019年度3次隊	駒ヶ根	1月20日(月)	藤澤職員	TV会議
	二本松			

6) 帰国隊員へのオリエンテーション

帰国隊員に対し、社会還元を主とした育てる会活動のオリエンテーションを行うとともに個人情報提供を依頼した。

場 所 : JICA 市ヶ谷、麴町、竹橋

概 要 : 育てる会活動の説明ならびにメールアドレス等の収集

隊次	実施日	担当者
2017年度1次隊	帰国時ピーク：6月26日(水)～7月11日(木) ほか随時	東郷職員、吉田職員
2017年度2次隊	帰国時ピーク：9月25日(水)～10月10日(木) ほか随時	奥永常任理事、東郷職員、 吉田職員、藤澤職員
2017年度3次隊	帰国時ピーク：2019年1月9日(木)～16日(木) ほか随時	奥永常任理事、山崎職員 吉田職員、藤澤職員
2017年度4次隊	帰国ピーク時：2020年3月下旬～ ※新型コロナウイルス感染拡大に伴いオリエンテーション中止、郵送対応	

7) 人事

(1) 社団事務局

①退職

東郷理央(10月31日付 事務局/JICA 市ヶ谷勤務として)

山崎優子(3月31日付 事務局/JICA 市ヶ谷勤務として)

②休職

内島弘太(7月10日付 JICA パラグアイ事務所企画調整員として現職派遣)

三角梢恵(11月18日付 クロスロード編集部/事務局勤務として)

③新規採用

吉田晴乃(5月27日付 事務局/JICA 麴町・竹橋勤務として)

山崎優子(10月21日付 事務局/JICA 市ヶ谷勤務として)

阿部摩里恵(11月1日付 クロスロード編集部/事務局勤務として)

渡辺 翔(1月14日付 事務局/JICA 市ヶ谷勤務として)

(2) 全国育てる会

①石川県青年海外協力隊を支援する会会長の交代

前) 吉光武志氏 (株式会社吉光組代表取締役会長)

新) 小倉淳氏 (小倉建設株式会社代表取締役会長／一般社団法人石川県建設業協会会長)

②三重県協力隊を育てる会会長の交代

前) 高井邦彦氏 (NPO 法人 NGO JAPAN 理事長)

新) 市来丈弥氏 (ナリッシュマネジメント代表)

③JICA 海外ボランティアひょうご応援団

前) 齋藤富雄氏 (元兵庫県副知事、関西国際大学副学長、神戸山手大学大学長)

新) 高井芳朗氏 (公益財団法人兵庫県国際交流協会理事長、元兵庫県教育長)

以上

2020 年度事業計画書

1. 2020 年度事業方針
2. 2020 年度事業計画

2020 年度事業方針 (2020 年 4 月 1 日から 2021 年 3 月 31 日まで)

【スローガン】

「協力隊は日本の宝、育てて活かす平和の種まき」

【基本方針】

1. 協力隊事業への支援を通じて、世界から信頼される日本と平和で豊かな社会を実現する人材を育成する。
2. 協力隊に参加しやすい社会環境を目指して、全国の育てる会組織の皆様と共に活動する。
3. 協力隊の活動を通じて得た隊員たちの経験が日本の地域社会の活性化に生かされるよう、帰国隊員と自治体、経済団体、市民団体等との橋渡しとなる役割を果たす。

【重点活動】

1. JICA 海外協力隊活動ならびに社会還元活動の好事例集制作
2. 応募勸奨活動等による全国育てる会と JICA 青年海外協力隊事務局とのパートナーシップ強化
3. JICA 海外協力隊事業の理解促進等による「持続可能な開発目標」(Sustainable Development Goals) への貢献

協力隊を育てる会の使命

青年海外協力隊をはじめとする国際ボランティア（以下「協力隊等」という。）事業に市民の立場から参加しやすい社会環境を創り、次世代を担う人材の創出及び育成を図るとともに、協力隊等が得た経験を共有することで多様な価値観を尊重する平和で豊かな社会を築き、国際社会と地域社会の発展に寄与する。

重点活動

協力隊活動ならびに
社会還元活動の
好事例集制作

全国育てる会と
JICAとの
パートナーシップ強化

JICA海外協力隊事業の
理解促進を通じた
SDGsへの貢献

理解促進事業

各種イベント開催

カレンダーの
販売

カタログギフトの
販売

協力隊グッズの
販売

他団体との連携

帰国隊員の
進路支援

助成事業

小さなハートプロ
ジェクト

帰国隊員/青年支援
プロジェクト

馬場医療・福祉
奨学金

地域の育てる会
活動助成

広報事業

育てる会ニュース
の編集発行

web・SNSによる
情報発信

受託事業

クロスロード
編集・発行業務

帰国後事務手続き
現職参加促進業務

草の根技術協力
事業

総務活動

各種会議等の
開催

2020 年度事業計画（案）

【重点事業】

1. JICA 海外協力隊活動ならびに社会還元活動の好事例集制作

1) 帰国隊員による社会還元事例の発掘および紹介

実 施 : 通年

概 要 : 育てる会ニュースでの連載

2) 帰国隊員による社会還元事例集の制作

実 施 : 通年

概 要 : 受託業務の一つとして実施

3) 農業分野における現地活動事例集の制作

実 施 : 通年

概 要 : 受託業務の一つとして実施

2. 全国育てる会と JICA 青年海外協力隊事務局とのパートナーシップ強化

1) JICA 海外協力隊一時帰国者等への支援

実 施 : 通年

概 要 : 一時帰国隊員等への就労・インターン・研修・ボランティアの紹介

2) JICA 海外協力隊の理解促進活動

(1) 帰国報告会の開催

実 施 : 通年

概 要 : 当会主催または他団体主催での企画及び実施

(2) 企業向けセミナーの開催

実 施 : 通年

概 要 : 受託業務の一つとして実施

(3) シンポジウムの開催

実 施 : 年度内の開催

概 要 : (独) 国立青少年機構、JICA、当会の三者にて実施した「青年海外協力隊帰国者の意識等に関する調査研究」から考える、外向き志向人材の育成がテーマ

主 催 : JICA、(独) 国立青少年機構、(一社) 協力隊を育てる会

講 師 : 明石要一(教育学者、当会理事)、尾木直樹(教育評論家)、他帰国隊員

(4) 全国育てる会代表者会議の開催

実 施 : 年度内の開催

概 要 : 情報と課題共有の場として JICA と育てる会の共催にて実施

3. JICA 海外協力隊事業を通じた SDGs への貢献

1) カレンダーの制作・販売

- 概要 : 派遣中隊員及び帰国隊員から提供される写真を使用したオリジナルカレンダー
仕様 : A4 横／フルカラー／14 枚綴り (28P) ／オリジナル名入れ・メッセージ印字
制作数 : 8,000 部
制作 : 5 月～8 月
販売 : 9 月中旬 (予定)

【理解促進事業】

1) 各種イベントの開催

国際理解や人材育成、経験の社会還元等、協力隊事業を広く市民に周知する場として、社会情勢に合わせながら帰国隊員の活動報告会をはじめとするイベントを開催する。

(1) 家族交流会

- 実施 : 社会情勢に合わせてオンライン開催等も検討
対象 : 隊員家族ならびに協力隊参加希望者

(2) 帰国報告会

- 実施 : 社会情勢に合わせてオンライン開催等も検討
対象 : 隊員家族ならびに協力隊参加希望者、社会貢献団体、企業・団体関係者等

2) 「視察の旅」等の企画・実施

今年度はコロナ禍により企画・実施が困難なため中止とする。

(1) 視察の旅

- 実施 : 今年度は中止
備考 : 再開に向けて業務全体や広報の見直し等を実施

(2) スタディツアー

- 実施 : 今年度は中止
備考 : 再開に向けて業務全体や広報の見直し等を実施

3) 「持続する情熱」等、協力隊関連書籍の拡販

(1) 東京 2020 に関連した販売

- 実施 : 通年
概要 : 隊員派遣国とホームタウン協定を結んでいる自治体 (約 200 市町村) に JICA 支援を得て「持続する情熱」等を寄贈し、協力隊事業への理解促進をはかる。

(2) 隊員家族等への販売

- 実施 : 通年
概要 : 当会主催事業参加者等を対象に「持続する情熱」等を販売

4) 協力隊関連グッズの販売

実施：通年

概要：協力隊 T シャツ、ミカフェートコーヒー、JOCV & SDGs バッチの販売

5) カタログギフト「GLOBAL SPROUT」の販売

OBOG が関わる商品の情報をまとめ、Web 等の広報媒体にて紹介するとともにカタログギフトとして販売する。

ブランド：「GLOBAL SPROUT」（グローバルスプラウト）

概要：帰国隊員が生産する食品・雑貨・化粧品等のカタログギフト販売

備考：カタログ仕様等の見直しとリニューアル検討

6) 他団体との連携

協力隊事業と育てる会活動の理解促進を目的に、社会情勢に合わせながら他団体の実施する各種イベント名地に参加し、JICA 海外協力隊事業の広報や帰国隊員が生産する雑貨等の販売を行う。

(1) 協力隊まつり 2020

主催：協力隊まつり実行委員会

実施：4月26日（日）の開催はコロナ禍により中止

場所：JICA 地球ひろば（市ヶ谷）

(2) 第 91 回メーデー中央大会

主催：第 91 回メーデー中央実行委員会

実施：4月29日（水）の開催はコロナ禍により中止

場所：代々木公園

(3) サマーコンファレンス 2020

主催：（公社）日本青年会議所

実施：7月の開催はコロナ禍により延期

場所：パシフィコ横浜

(4) グローバルフェスタ 2020

主催：グローバルフェスタ実行委員会

実施：9月末

場所：未定

(5) キッズフェスタ in 大井競馬場

主催：東京 2020 ライオンズクラブ

実施：9月

場所：大井競馬場

(6) 第 18 回日比谷公園ガーデニングショー2020

主催：日比谷公園ガーデニングショー実行委員会

実施：10月

場 所 : 日比谷公園

(7) SEISA Asia Africa Bridge

主 催 : 公益財団法人世界こども財団

実 施 : 11 月

場 所 : 星槎中学高等学校

(8) 2021 年度京都会議

主 催 : (公社) 日本青年会議所

実 施 : 2021 年 1 月

場 所 : 国立京都国際会館

7) 帰国隊員の進路支援

就職や転職、進学、結婚等、帰国隊員の様々なニーズに対して、彼らの経験や持ち味が活かせる人生プランをアドバイスするとともに進路開拓の支援を行う。

(1) 進路相談の実施

実 施 : 通年

概 要 : 就職や転職、進学等へのアドバイス

(2) 婚活イベントの開催

実 施 : 今年度は中止

備 考 : 開催要望の声が多いことから次年度以降に他行事との共催を含めて検討

【助成事業】

1) 小さなハートプロジェクト

協力隊員が本来の業務以外に企画するプロジェクトに対して支援金を日本全国から募る事業だが、今年度はコロナ禍により実施が困難なため、規程等の変更をはじめオンライン支援の可能性検討等を行う。

支援金額 : 1 件につき上限 300,000 円

支援件数 : 状況に応じて

募集期間 : 通年

審 査 : 審査員により随時実施

備 考 : 業務や広報等の見直しを中心とする

2) 帰国隊員／青年支援プロジェクト

公益財団法人三菱 UFJ 国際財団の支援を基に、帰国隊員の国際協力活動及び調査研究活動を支援する。

支援金額 : 1 件につき上限 500,000 円

支援総額 : 2,700,000 円

募集期間 : 7 月 1 日 (水) ~ 8 月 31 日 (月)

審査選考：選考委員会にて 10 月頃実施

3) 馬場医療・福祉奨学金

医療・福祉分野への就学・就職を希望する帰国隊員を対象に、返済義務を付した奨学金を給付し支援する。

支援金額：1 件につき上限 500,000 円

支援総額：1,000,000 円

募集期間：7 月 1 日（水）～8 月 31 日（月）

審査選考：帰国隊員／青年支援プロジェクトの審査選考と併せて実施

4) 全国育てる会活動助成

全国育てる会が実施する協力隊事業の理解促進等の諸活動に対し、助成金を給付する。

支援金額：状況に応じて決定

給付時期：状況に応じて決定

対象事業：以下の 4 事業

- ①協力隊に参加し易く、その経験を地域に活かす社会環境整備活動
- ②協力隊事業の理解促進のための広報啓発活動
- ③「協力隊の応援団」を地域で増やす支援者拡充活動
- ④全国育てる会の連携活動

【広報事業】

1) 「協力隊を育てる会ニュース」の発行

全国育てる会と会員、派遣中の協力隊員、帰国隊員、法人団体等の支援者とを結ぶ“育てる会活動の情報ツール”として、育てる会活動や帰国隊員の取り組み、協力隊事業の動向等を紹介する。

発行数：約 4,000 部／毎月（赴任中の協力隊員には PDF 配信）

仕様：モノクロ／タブロイド版／4 ページ

構成：1 面～最新トピックス

2 面～全国育てる会や地域の支援者の活動紹介

3 面～派遣中隊員、帰国隊員向けの支援情報

4 面～各種インフォメーション

2) Web や SNS による情報提供

一般から隊員家族、派遣中隊員、帰国隊員まで、協力隊事業ならびに育てる会活動を広く周知するため、Web や SNS を活用した広報を更に充実させるとともに以下の情報等を発信する。

- (1) 全国育てる会活動の最新トピックスや各種イベント情報（告知および報告等）の提供
- (2) 帰国隊員が関わる事業や商品情報の提供
- (3) 各種支援情報の提供

3) メーリングリストによる情報提供

派遣中や帰国後隊員に育てる会活動を広く周知しネットワークを構築するため、以下の情報等を発信する。

- (1) カレンダー写真の募集
- (2) 帰国報告会等講師の募集
- (3) 各種支援事業の告知
- (4) 就職・進学情報の告知
- (5) 各県組織からの情報提供
- (6) 会員団体からの情報提供

4) 隊員活動の広報支援

関係団体等の広報媒体と帰国隊員を繋ぎ、協力隊事業の理解促進を目的としたレポート等を発信する。

(1) FEC NEWS

発行元 : 民間外交推進協会

発行 : 月1回

内容 : 本年度をもって全隊員派遣国の紹介を終えるため、今後の掲載について協議する。

【受託事業】

1) JICA 受託事業

当会の独自性と長年培ってきたノウハウを活かし、効率的かつ効果的に業務遂行するとともに、契約再受託に向けた諸準備を進める。

(1) 「クロスロード」誌編集・発行業務

委託元 : 独立行政法人国際協力機構

業務 : ボランティア向け実践ガイドの編集発行

(2) 「JICA ボランティア帰国情報/事務管理・現職参加促進支援」業務

委託元 : 独立行政法人国際協力機構

業務 : 各種証明書発行やデータ整備等の事務手続き、現職参加の促進・調査・相談等

備考 : 2021年3月末まで契約延長

(3) 草の根技術協力事業

事業名 : 初等教育カリキュラム改訂に伴う授業改善支援プロジェクト

実施国 : ミャンマー連邦共和国

申請 : 状況に応じて実施

【総務活動】

1) 各種会議の運営

一般社団法人としての確な組織運営ならびに事業活動の推進を目的として、役員会等の各種会議を開催する。

(1) 第45回通常総会

開催日 : 6月30日(火) 16:00~17:00

場所 : 都内

【プログラム】

第1部 通常総会(16:00~17:00)

(2) 理事会

年3回の開催(6月、12月、2021年3月)

(3) 常任理事会

原則として四半期ごとに開催

(4) 顧問・参与会議

原則として年2回程度開催

2) 各種交流会の開催

(1) 「新春の集い」

日時 : 2021年1月

場所 : 都内

(2) その他、各種表彰・叙勲等のお祝い会

開催 : 随時

場所 : 都内

3) 派遣隊員へのガイダンス

実施 : コロナ禍により今期は中止

場所 : 二本松訓練所、駒ヶ根訓練所(JICA竹橋からTV会議利用)

概要 : 育てる会活動の説明ならびに個人情報の収集

4) 帰国隊員へのオリエンテーション

時期 : コロナ禍により今期は中止

場所 : 都内

概要 : 育てる会活動の説明ならびにメールアドレス等の収集

以上

2020年度収支予算

(2020年4月1日から2021年3月31日まで)

(単位：円)

	科目	2020予算 (修正前) (A)	2020予算 (修正後) (B)	(B) - (A)	備考
	事業活動収入				
1	基本財産運用収入	1,000	1,000	0	定期預金
2	入会金収入	100,000	50,000	△ 50,000	入会者数減
3	会費収入	5,000,000	3,000,000	△ 2,000,000	留守家族減
4	研修会費収入	2,925,000	655,000	△ 2,270,000	視察の旅実施企画中止
5	広告料収入	3,200,000	1,000,000	△ 2,200,000	広告掲載企業減
6	手数料収入	5,551,000	5,551,000	0	会員発送、紹介、グッズ
7	カレンダー販売収入	4,700,000	3,930,000	△ 770,000	
8	帰国隊員等支援受託収入	35,000,000	35,000,000	0	カウンセラー4名、パンフ作成
9	加編編集業務等受託収入	50,280,000	50,280,000	0	年12冊
10	加会会員差込	0	0	0	
11	その他受託収入	1,500,000	6,500,000	5,000,000	新規受託事業
12	助成金収入	3,000,000	3,000,000	0	三菱UFJ国際財団
13	寄付金収入	1,300,000	0	△ 1,300,000	小さなハート
14	グローバルプラザ	500,000	500,000	0	
15	雑収入	5,844,000	6,314,000	470,000	調整員派遣手数料他
	経常収益合計	118,901,000	115,781,000	△ 3,120,000	
	事業活動支出				
16	給与手当	44,611,000	44,611,000	0	調整員派遣、経理職員
17	退職掛金	1,080,000	1,080,000	0	
18	福利厚生費	6,523,000	6,523,000	0	社会保険等
19	旅費交通費	2,440,000	1,790,000	△ 650,000	出張減、視察の旅交通費等減
20	通信運搬費	7,527,000	7,367,000	△ 160,000	会員送付数減
21	会議費	287,000	287,000	0	
22	修繕費	980,000	980,000	0	コピー、光電話、PCなど
23	印刷製本費	10,149,000	9,809,000	△ 340,000	旅報告書等減
24	賃借料	5,403,000	5,403,000	0	家賃、OA機器
25	光熱水費	552,000	552,000	0	
26	保険料	114,000	54,000	△ 60,000	視察の旅
27	諸謝金	1,756,000	1,716,000	△ 40,000	講演会等イベント減
28	消耗品費	250,000	250,000	0	
29	租税公課	3,515,000	3,515,000	0	消費税
30	減価償却費	39,000	39,000	0	
31	仕入高	540,000	540,000	0	記念誌
32	支払負担金	2,052,000	2,052,000	0	社労士、税理士等、マーク、派遣
33	支払助成金	7,390,000	6,220,000	△ 1,170,000	小さなハートの支援減
34	委託費	19,358,000	19,348,000	△ 10,000	イベントデザイン減
35	雑費	4,335,000	3,645,000	△ 690,000	イベントパーティー代等減
	経常費用合計	118,901,000	115,781,000	△ 3,120,000	
	事業活動収支差額	0	0	0	

第 1 号議案：2019 年度決算承認の件
公益目的支出計画実施報告書
監事監査報告書

決 算 報 告 書

(第 7 期)

自 2019 年 4 月 1 日
至 2020 年 3 月 31 日

正味財産増減計算書

平成31年 4月 1日から令和 2年 3月31日（決算）まで

法人名：一般社団法人協力隊を育てる会

事業名：事業全体

（単位： 円）

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
經常増減の部			
經常収益			
基本財産運用益	1,356	1,422	△66
基本財産受取利息	1,356	1,422	△66
受取入金会金	73,000	204,200	△131,200
受取入金会金	73,000	204,200	△131,200
受取会費	6,978,531	10,205,376	△3,226,845
正会員受取会費	4,951,000	5,537,000	△586,000
研修会受取会費	2,027,531	4,668,376	△2,640,845
事業収益	100,007,507	89,361,261	10,646,246
広告料収入	3,525,940	2,833,920	692,020
手数料収入	5,458,470	4,191,669	1,266,801
カレンダー等販売収入	4,990,090	5,043,300	△53,210
帰国隊員等支援助託収入	34,508,394	30,357,997	4,150,397
クロス編集業務受託収入	50,280,121	44,561,482	5,718,639
クロス差込収益	188,704	730,047	△541,343
GLOBAL SPROUT	631,369	790,916	△159,547
その他受託収入	424,419	851,930	△427,511
受取補助金等	3,000,000	3,000,000	0
受取民間助成金	3,000,000	3,000,000	0
受取寄付金	1,307,615	2,044,360	△736,745
受取寄付金	1,307,615	2,044,360	△736,745
雑収益	5,141,056	8,946,260	△3,805,204
受取利息	79	83	△4
雑収益計	5,140,977	8,946,177	△3,805,200
經常費用計	116,509,065	113,762,879	2,746,186
事業費用	101,835,912	101,454,090	381,822
給料手当	37,632,139	35,170,291	2,461,848
退職共済掛金	864,000	861,000	3,000
福利厚生費	6,147,035	5,329,087	817,948
旅費交通費	2,584,785	3,202,553	△617,768
通信運搬費	6,368,014	5,956,529	411,485
会議費	5,860	301,412	△295,552
消耗品費	716,996	33,290	△33,290
修繕費	716,996	904,490	△187,494
印刷製本費	10,136,480	11,798,702	△1,662,222
仕入高料	93,852	317,628	△223,776
光熱水料	276,212	376,527	△100,315
賃借料	2,436,358	2,527,572	△91,214
保険料	99,010	149,680	△50,670
諸謝金	1,659,833	3,273,567	△1,613,734
租税公課	7,433,209	3,068,400	△3,068,400
支払助成金	7,433,209	7,896,650	△463,441
委託費	19,556,240	15,915,202	3,641,038
雑費	5,825,889	4,371,510	1,454,379
管理費用	19,251,987	18,296,869	955,118
給料手当	4,866,921	4,422,519	444,402
退職共済掛金	216,000	214,000	2,000
福利厚生費	794,988	670,112	124,876
会議費	280,356	192,630	87,726
旅費交通費	216,606	241,514	△24,908
通信運搬費	846,437	744,403	102,034

正味財産増減計算書

平成31年 4月 1日から令和 2年 3月31日（決算）まで

法人名：一般社団法人協力隊を育てる会

事業名：事業全体

（単位：円）

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
減価償却費	187,968	29,798	158,170
消耗品費	256,294	707,708	△451,414
修繕費	193,797	974,083	△780,286
印刷製本費	101,470	198,234	△96,764
光熱水料費	276,211	376,527	△100,316
賃借料	3,119,214	3,457,126	△337,912
保険料	17,290	53,400	△36,110
諸謝金	10,000	10,000	
租税公課	4,075,550	75,850	3,999,700
支払負担金	2,842,937	3,121,812	△278,875
為替差損	6,187		6,187
雑費	943,761	2,807,153	△1,863,392
経常費用計	121,087,899	119,750,959	1,336,940
評価損益等調整前当期経常増減額	△4,578,834	△5,988,080	1,409,246
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△4,578,834	△5,988,080	1,409,246
経常外増減の部			
経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
経常外費用			
固定資産売却損	0	95,962	△95,962
固定資産除却損		95,962	△95,962
経常外費用計	0	95,962	△95,962
当期経常外増減額	0	△95,962	95,962
税引前当期一般正味財産増減額	△4,578,834	△6,084,042	1,505,208
法人税、住民税及び事業税	70,000	64,100	5,900
当期一般正味財産増減額	△4,648,834	△6,148,142	1,499,308
一般正味財産期首残高	44,895,353	51,043,495	△6,148,142
一般正味財産期末残高	40,246,519	44,895,353	△4,648,834
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	40,246,519	44,895,353	△4,648,834

貸借対照表

令和 2 年 3 月 31 日現在 (決算)

法人名：一般社団法人協力隊を育てる会

事業名：事業全体

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
流動資産			
現金預金	704,729	3,736,735	△3,032,006
現金	25,606	248,557	△222,951
普通預金	679,123	3,488,178	△2,809,055
未収会費	140,000	130,000	10,000
未収金	14,778,405	17,217,035	△2,438,630
前払金	371,192		371,192
貯蔵品	47,241	52,180	△4,939
商品	1,493,704	1,372,828	120,876
立替金	136,407	69,178	67,229
預け金	2,000	2,000	
流動資産合計	17,673,678	22,579,956	△4,906,278
固定資産			
基本財産			
定期預金	20,000,000	20,000,000	
基本財産合計	20,000,000	20,000,000	0
特定資産			
奨学貸付引当資産	6,350,000	5,952,948	397,052
特定資産合計	6,350,000	5,952,948	397,052
その他固定資産			
建物附属設備	2,180,493	2,368,461	△187,968
保証金	1,770,558	1,770,558	
奨学貸付金	1,650,000	2,047,052	△397,052
その他固定資産合計	5,601,051	6,186,071	△585,020
固定資産合計	31,951,051	32,139,019	△187,968
資産合計	49,624,729	54,718,975	△5,094,246
II 負債の部			
流動負債			
未払金	5,490,161	7,024,028	△1,533,867
前受金	771,200	889,200	△118,000
預り金	505,749	994,094	△488,345
未払消費税等	2,541,100	852,200	1,688,900
未払法人税等	70,000	64,100	5,900
流動負債合計	9,378,210	9,823,622	△445,412
負債合計	9,378,210	9,823,622	△445,412
III 正味財産の部			
一般正味財産	40,246,519	44,895,353	△4,648,834
正味財産合計	40,246,519	44,895,353	△4,648,834
負債及び正味財産合計	49,624,729	54,718,975	△5,094,246

財務諸表に対する注記

法人名：一般社団法人協力隊を育てる会
事業名：事業全体

1. 重要な会計方針

(1) 会計方針

「公益法人会計基準」（平成20年12月1日 内閣府公益認定等委員会）を採用している。

(2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

最終仕入原価法による原価法によっている。

(3) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産 定額法によっている。

(4) リース取引の処理方法

リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっている。

(5) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
定期預金	20,000,000	0	0	20,000,000
奨学貸付引当資産	5,952,948	397,052	0	6,350,000
合計	25,952,948	397,052	0	26,350,000

3. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物附属設備	2,398,259	217,766	2,180,493
合計	2,398,259	217,766	2,180,493

4. その他

(1) 表示方法の変更

なし

附属明細書

法人名：一般社団法人協力隊を育てる会
事業名：事業全体

1. 基本財産及び特定資産の明細

(単位：円)

区分	資産の種類	期首帳簿価額	当期増加額	当期減少額	期末帳簿価額
基本財産	定期預金	20,000,000	0	0	20,000,000
特定資産	奨学貸付引当資産	5,952,948	397,052	0	6,350,000

公益目的支出計画実施報告書

【30年度（2019/4/1から2020/3/31まで）の概要】

1. 公益目的財産額	81,720,787円
2. 当該事業年度の公益目的収支差額（（1）＋（2）－（3））	82,520,700円
（1）前事業年度末日の公益目的収支差額	69,965,475円
（2）当該事業年度の公益目的支出の額	17,317,234円
（3）当該事業年度の実施事業収入の額	4,762,009円
3. 当該事業年度末日の公益目的財産残額	-799,913円
4. 2の欄に記載した額が計画に記載した見込み額と異なる場合、その概要及び理由	
公益目的支出の額を計画当初よりも多く支出した為、公益目的支出計画の実施期間が今期にて終了。会員総会後に「公益目的支出計画」実施完了確認請求を行政庁に提出します。	

【公益目的支出計画の状況】



公益目的支出計画の	(1) 計画上の完了見込み	令和5年3月31日
完了予定事業年度の末日	(2) (1)より早まる見込みの場合	

	前事業年度		当該事業年度		翌事業年度
	計画	実績	計画	実績	計画
公益目的財産額	81,720,787円	81,720,787円	81,720,787円	81,720,787円	81,720,787円
公益目的収支差額	49,629,324円	69,965,475円	57,900,878円	82,520,700円	66,172,432円
公益目的支出の額	16,881,554円	19,213,287円	16,881,554円	17,317,234円	16,881,554円
実施事業収入の額	8,610,000円	5,035,849円	8,610,000円	4,762,009円	8,610,000円
公益目的財産残額	32,091,463円	11,755,312円	23,819,909円	-799,913円	15,548,355円

2020年5月8日

監査報告書

一般社団法人 協力隊を育てる会
代表理事 山本 保博 殿

監事 福龍 健一 
監事 中村 義人 

私たち監事は、第7期事業年度（2019年4月1日から2020年3月31日まで）の事業報告、計算書類（貸借対照表、正味財産増減計算書、個別注記表）、附属明細書、公益目的支出計画実施報告書、その他理事の職務執行の監査について、次のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

監事間の協議により監査方針を定め、理事会その他の重要な会議に出席し、会計帳簿、会計書類、重要な決裁文書及び報告書を閲覧、調査し、必要に応じて当法人の理事等から職務の執行状況等について報告を受け、また随時説明を求め監査を実施いたしました。

2 監査の結果

- (1) 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い当法人の状況を正しく表示しているものと認めます。
- (2) 理事の職務の遂行に関し、不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。
- (3) 計算書類とその附属明細書は、当法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。
- (4) 公益目的支出計画実施報告書は、法令及び定款に従い、当法人の公益目的支出計画の実施状況を正しく表示しているものと認めます。

以上

第 2 号議案：2021 年度役員承認の件

一般社団法人協力隊を育てる会役員（案）

2020-2021年度

理事	明石 要一	千葉大学名誉教授、千葉敬愛短期大学学長	
理事	上田 みどり	広島県青年海外協力隊を育てる会会長	新任
理事	奥永眞智子	前一般社団法人協力隊を育てる会事務局長	
理事	澤田 澄子	公益社団法人企業メセナ協議会常務理事兼事務局長	
理事	重 政子	NPO法人持続可能な開発のための教育推進会議代表理事	
理事	杉下 恒夫	一般財団法人国際開発機構理事長	
理事	田口 努	公益財団法人日本YMCA同盟総主事・代表理事	新任
理事	棚田 一論	日本青年団協議会事務局長	新任
理事	土井 章	グローバル・コンパクトネットワーク・ジャパンCSO	
理事	松岡 和久	公益財団法人CIESF副理事長	
理事	水野 秀一	公益社団法人日本青年会議所事務局アドバイザー	
理事	山根木晴久	日本労働組合総連合会運動推進局長	
理事	山本 信也	一般財団法人日本青年館常務理事	
理事	山本 保博	医療法人伯鳳会東京曳舟病院院長	
監事	中村 義人	公認会計士	
監事	福瀧 健一	千葉県海外協力隊を育てる会理事	